



平成31年2月20日

広島大学平和センター主催
広島平和文化センター平和記念資料館共催

市民公開講座
『被爆体験を「生きる力」へ：テーマ5選』を開催します

74年の歩みの中で、「広島」は被爆都市「ヒロシマ」となり、反核と平和を象徴する世界の「HIROSHIMA」へと発展を遂げました。その途上で、被爆の実態と被爆体験から、市民は様々な「知識」を紡ぎ、辛い「経験」を復興と平和のための意思決定に役立て、世界平和希求の理念へと昇華してきました。都市と社会の構築、医療や福祉の発展、核軍縮と平和への取り組みなど様々な分野に、被爆体験の継承がどう貢献し、どんな社会影響を与えてきたのか。本公開講座では、5つのテーマ・視点から考え、この問いについて考えます。

記

【日時】 平成31年3月2日（土）13時～16時30分

【会場】 広島平和記念資料館東館 地下1階 メモリアルホール

【対象】 どなたでも結構です

【講演者】

川野 徳幸 広島大学平和センター センター長
原田 浩徳 東京薬科大学生命科学部腫瘍医科学研究室 教授
冨塚 明 長崎大学水産・環境科学総合研究科 准教授
志賀 賢治 広島平和記念資料館 館長
Luli van der DOES
広島大学平和センター外国人客員研究員／
日本学術振興会外国人特別研究員

【参加費】 無料

【申し込み方法】

電話、郵便はがき、FAX又はE-mailで氏名、連絡先、手話通訳・要約筆記が必要な方はその旨を明記の上、2月28日（木）（必着）までに、広島大学平和センターへお申し込みください。

【お問い合わせ先】

広島大学平和センター
〒730-0053 広島市中区東千田町 1-1-89
TEL:082-542-6975 FAX:082-245-0585
E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp



広島大学平和センター主催
広島平和文化センター平和記念資料館共催



平成30年度市民公開講座

被爆体験を「生きる力」へ テーマ5選

日時：平成31年3月2日(土)

13:00～16:30 (12:30 開場)

会場：広島平和記念資料館地下1階メモリアルホール

対象：どなたでも 参加無料

講演者 (登壇順)

川野徳幸 Noriyuki Kawano

広島大学平和センター センター長・教授

原田浩徳 Hironori Harada

東京薬科大学生命科学部腫瘍医科学研究室 教授

冨塚明 Akira Tomizuka

長崎大学 水産・環境科学総合研究科 准教授

ファン・デル・ドゥースルリ Luli van der Does

JSPS 特別研究員・広島大学平和センター外国人客員研究員

志賀賢治 Kenji Shiga

広島平和記念資料館 館長

お申込み方法：電話・郵便葉書、FAX
または E-mail で、氏名、連絡先を
ご記入の上、手話通訳・要約筆記が
必要な方はその旨を明記し、
広島大学平和センターまで。
2月28日(木)必着。

お問合せ：広島大学平和センター
〒730-0053 広島市中区東千田町 1-1-89
電話 082-542-6975 Fax 082-245-0585
E-メール heiwa@hiroshima-u.ac.jp



広島大学平和センター主催・広島平和記念資料館共催
 平成30年度市民公開講座「被爆体験を『生きる力』へ：テーマ5選」
 日時：平成31年3月2日（土）13:00～16:30（12:30開場）
 会場：広島平和記念資料館地下1階メモリアルホール 参加無料



13:00-13:20 開会のあいさつ・趣旨説明～被爆体験から学び、継承するもの



川野徳幸 Noriyuki Kawano 広島大学平和センター センター長・教授。広島大学原爆放射線医科学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教、広島大学平和科学研究センター准教授等を経て、2013年6月から同センター教授、2017年4月、センター長に就任。医学博士。専門は原爆・被ばく研究、平和学。

13:20-13:50 原爆後障害と血液がん～骨髄異形成症候群とは



原田浩徳 Hironori Harada 東京薬科大学生命科学部腫瘍医科学研究室 教授。広島大学原爆放射線医科学研究所血液内科助手・助教・講師、順天堂大学医学部内科学教室血液学講座准教授等を経て、2016年7月から東京薬科大学生命科学部教授に就任。医学博士。専門は骨髄異形成症候群の診療と研究、放射線生物影響学。

13:50-14:20 国際的な潮流に逆行する核兵器近計画



冨塚明 Akira Tomizuka 長崎大学 水産・環境科学総合研究科 准教授。専門は環境物理学・平和学。博士（環境科学）。被爆者問題、核兵器、原子力発電、安全保障などの課題に取り組んでいる。長崎大学 核兵器廃絶研究センター（RECNA）教員を兼務。核弾頭データ／核物質データの収集及びポスター作成を担当。

14:20-14:30 休憩（10分）

14:30-15:00 平和都市アイデンティティの力



ファン・デル・ドゥース ルリ Luli van der DOES Edinburg大学応用言語学部教員、Cambridge大学応用言語学部 Chevenings 奨学研究員、Sheffield大学社会科学院東洋学部講師などを経て、現在日本学術振興会特別研究員・広島大学平和センター外国人客員研究員。社会科学博士。多領域横断手法を用いて原爆・被爆体験と戦争記憶の市民参加型継承を探求。共著に Excavating the Power of Memory in Japan (2016年) など。

15:00-15:30 平和記念資料館の使命と今後のあり方



志賀賢治 Kenji Shiga 広島平和記念資料館 館長。1978年名古屋大学法学部卒業、同年広島市役所採用。広島市立大学事務局長、健康福祉局長、人事委員会事務局長などを歴任し、2013年広島市役所退職。2013年4月より現職。国際博物館会議（ICOM）の招へい講演や欧州各地での「原爆の絵」展開催への協力、国連本部の原爆常設展への情報支援など、原爆・被爆に関する展示の国際的ネットワーク構築と相互交流を意欲的に展開中。

15:30-15:40 休憩（10分）

15:40-16:20 総合討論

16:20-16:30 閉会のあいさつ

ご氏名	<お申し込み先> 広島大学平和センター 〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89 電話082-542-6975 Fax 082-245-0585 Eメール heiwa@hiroshima-u.ac.jp		
ご連絡先			
手話通訳・要約筆記	いる		いない